

令和3年度 幼児教育事業報告

名称	月日	内容	実施内容	次年度に向けて
幼児教育審議会	第1回 6月22日(火) 第2回 9月17日(金) 第3回 11月10日(水) 第4回 3月3日(木)	・宗像市幼児教育振興プログラム(第4期)の改訂 ・事業の進行管理・協議	第4期幼児教育振興プログラムは、育てたい幼児像や基本施策を見直し、委員の意見を踏まえて改訂を行った。また、第3期幼児教育振興プログラムの事業計画について報告を行った。	第4期幼児教育振興プログラムに基づく事業の進行管理・協議
幼児教育研究協議会	第1回 8月20日(金)	「次年度事業計画の方向性を検討」 「パンフレットの見直しについて」	「学びのめやす」「スムーズな小学校入学に向けて」のパンフレットの見直しについて協議を行い、共通認識が持てて分かりやすいものとなるよう保護者向けと教員向けを一本化する方向で検討した。具体的な案については、少人数で話し合うこととなった。	今後の事業の具体的な取り組みの検討
	第2回 10月29日(金)	「次年度事業計画の具体化」 「パンフレットの案について検討」	パンフレットの見直しを少人数で進めるため「パンフレット検討部会」として3人の代表委員と事務局で協議を進めた。また具体的な内容については第1回の委員の意見や提案を踏まえてパンフレット案を作成した。	
	第3回 3月9日(水)	「次年度事業計画の取組みについて」 「今年度事業報告」	パンフレット案として協議をしていたが、見やすくすることを重視してポスター案としてを提案することとなり、決定することとなった。また、令和3年度の幼児教育事業計画の報告と、令和4年度事業計画案について研修内容の検討する。	
保育所・幼稚園・認定こども園連絡会	第1回 5月11日(火)	「今年度事業の計画」	宗像市幼児教育事業の現状(特別支援について)や情報共有を行った。令和3年度事業計画について、連絡事項を報告する。各課からの資料配布のみ。	幼児教育に関する協議や情報の共有
	第2回 11月11日(木) リモートで実施	「今年度事業の計画」 「協議・情報交換」	幼児教育振興プログラムについて保護者へのアンケート調査をもとに報告令和3年度の幼児教育事業計画の経過報告を行った。人権・虐待について研修を実施	
保育所保育士、幼稚園・認定こども園・小学校・義務教育学校教員等研修会	第1回 7月8日(金)	「情報交換会」 (小学校・義務教育学校入学後の学校生活について)	教育、保育活動についての相互理解を図るとともに、発達や学びの連続性を踏まえた就学期における教育の充実を図った。 (保幼認小義の先生 43名参加)	幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化
	第2回 6月30日(水)	「保育参観と講義」 (幼児期における学びについて)	福岡教育大学附属幼稚園にて保育参観を実施し、福岡教育大学教授の船越美穂氏により、幼児が興味や関心をもっていることに主体的に取り組む保育について、講評をいただいた。今年度は、小学校の先生にも参加していただき幼児教育及び学校教育の充実を図り、保育士・教員等の資質及び専門性の向上へつながる有意義な研修となった。 (保幼認届出の先生 32名参加)	
	第3回 12月8日(水)	「講義+グループ協議」 (実効性のある接続カリキュラムの作成に向けて)	スタートカリキュラムの作成に向けての研修会に際し、各校での実態を把握するため、事前にアンケートを調査を実施した。大島保育所と大島学園大島小学校の実践発表のあと、グループに分かれ幼児期の姿を小学校の先生が園の先生に聞きながら入学当初のスタートカリキュラムを作成した。発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育及び学校教育の充実を図ることができた。 (保幼認小義の先生 39名参加)	
	第4回 2月25日(金)	「参観+情報交換」	【中止】園が保育者と子どもの関わりの様子を収めたDVDを作成し配付	
保育所保育士、幼稚園・認定こども園教員等研修会	第1回 1月17日(月)	「講義+グループ協議」 (子どもの主体性を大切に保育とは)	【中止】	
	第2回 9月13日(月) リモートで実施	「講義」(のぞみ園の療育について) (ことばの療育での取り組み)	宗像市の発達支援の体制と取組について、相談の流れから療育までの具体的な講義を実施。言語聴覚士による構音障害や療育の内容など具体的な講義を実施。また、のぞみ園の受付から支援開始までの流れなどをまとめたDVDを作成 (保育園・幼稚園・認定こども園の先生 23名参加)	
保育所保育士、幼稚園・認定こども園教員等加配職員研修会	7月27日(火)	「講義」 (発達が気になる子への生活動作の教え方)	専門作業療法士の鴨下賢一氏から「発達が気になる子への生活動作の教え方」の講義を実施。動画を見ながら具体的な支援法を学ぶことができた。保育士からは配慮が必要な子への対応について多くの質問があり、充実した研修会となった。 (保幼認届出・小学校・学童指導員の先生 21名参加)	保育者の資質及び専門性の向上
発達支援コーディネーター研修会	7月28日(水)	「講義」 (合理的配慮の提供とその実際について)	専門作業療法士の鴨下賢一氏から、「合理的配慮の提供とその実際について」の講義を実施。具体的な指導方法を交えながらの講義を通して保育士や教員等の資質の向上を図るとともに、宗像市の特別支援教育の充実を図ることができた。 (保育園・幼稚園・認定こども園・届出保育施設の先生 18名参加+小学校教諭)	
発達支援連絡会	8月2日(月) リモートで実施	「講義」 (就学に向けた支援について)	発達支援室の取り組みと就学に向けた支援について、事例を交えながら具体的な対応について講義をオンラインで実施。 (保育園・幼稚園・認定こども園の先生 21名参加)	

連携事業				
保育の日	7~8月	各保育所	「保育の日」の実施園は12園で、訪問人数の合計は20名	幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化
新入学児の引継ぎ(園訪問)	1月~	各小学校	小学校の教員が園を訪問し、子どもの様子を観察しながら引継ぎを行う	
新入学児の引継ぎ(学校訪問)	3月	各小学校	園の職員が学校を訪問し引継ぎを行う予定	
統一入学説明会	2月	市内小学校・義務教育学校全15校	各小学校において実施 開催内容については、新型コロナウイルス感染状況を見ながら各小学校で対応	
宗像市統一要録の送付	2月	各小学校	2月末までに園から直接小学校へ送付	
保育所・幼稚園・認定こども園による小学校見学	主に学校の日	各小学校	「学校の日」新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参観者を限定して実施	
保育所・幼稚園・認定こども園による小学校見学支援事業	主に学校の日	各小学校	利用希望園なし	
保幼小連携だより	年2回発行 (11月、3月)	保幼小連携と接続強化また、保育士、幼稚園・認定こども園教員等の資質及び専門性の向上を図るための取り組みを紹介	(保幼小連携だより第12号の内容) ・第1回保幼認小義教員等研修会(情報交換会) ・第2回保幼認小義教員等研修会(保育参観と講義:福岡教育大学附属幼稚園) ・保育所保育士・幼稚園・認定こども園教員等加配研修会(専門作業療法士:鴨下賢一氏)	

※令和3年度の中止となった事業は新型コロナウイルス感染症の影響によるもの